

# 日本原水協FAXニュース

発行:原水爆禁止日本協議会 電話:03-5842-6031 2011年  
FAX:03-5842-6033 Eメール:antiatom55@hotmail.com 3月16日

「東北地方太平洋沖地震」に対する海外の友人のお見舞いのメッセージを紹介します。(3月16日正午時点、全文は「原水協通信」ブログに順次掲載します。http://www.antiatom.org/Gpress/?p=2896)

## 海外の友人のお見舞いのメッセージ

**ジョゼフ・ガーソン** (アメリカフレンズ奉仕委員会) : アメリカでは、地震とその後の信じ難い津波の恐ろしいニュースで朝を迎えました。また、首都圏の広範囲で何百万人もの人々が、電気と交通麻痺のため深刻な状態になっているというニュースも入ってきています。私は、15年前の神戸地震でもたらされた被害を見て、愕然としたことをよく覚えています。地震災害についての初期の報道に加えて、津波による死者数や壊滅状況などの報道は恐ろしく、懸念は太平洋を越えて広がっています。私たちの多くが、日本の友人、その家族の方々、地域の状況を心配しています。私たちは遠くにいますが、何か助けになることがあれば知らせてください。

**アブデル・モネイム** (アラブ連盟、エジプト) : みなさんの最愛の祖国に起こっていることに、深い悲しみを覚えます。日本の平和運動に関わるみなさんや家族の方々、すべての友人が無事であることを願っています。そして、偉大な日本の人々が、広島と長崎の原爆投下による犯罪的な被害に打ち勝てたように、模範的な意志の強さで、この災害を克服することを願っています。あらゆる配慮と献身が必要なこの時に日本から遠く離れているのは辛いことです。日本原水協のみなさんに、私からの心からのお悔やみを申し上げます。神のご加護がみなさんにありますように。

**キム・スヒョン** (韓国・進歩新党) : 日本のみなさんへ 先日は本当にお世話になりました。地震のニュースを見て、おどろいてご心配しております。みなさん、大丈夫でしょうか。“試練はあっても失敗はない”という韓国の言葉もありますが、日本のみなさん、試練に耐え抜いてまた頑張ってください。韓国の私たちも応援しております。

**ジャッキー・カバソ** (西部諸州法律基金) : 私たちは日本で起きた巨大地震と津波に衝撃を受けており、また福島原発で起きている状況をとても心配しています。津波は、アメリカの私が住んでいる西部海岸地域も襲い、波止場や港が被害を受け、ハイウェイが閉鎖し、波にさらわれた人もいました。日本での被害とは比べものになりませんが、皆さんは大丈夫ですか？アメリカの友人にできることがあれば何でも言って下さい。愛を込めて。

**ナラヤナ・ラオ** (全インド人民連帯機構[AIPSO]マハシュトラ州委員会) : 今回の津波は、広島と長崎の原爆以来、日本の人々が直面する最大の危機です。人々が被っている被害と原発によって引き起こされるかもしれない核の危険に、深く嘆く次第です。

**ジュヌヴィエーヴ・ペリシエ** (フランス平和運動サンドニ地域委員会) : この瞬間にあなた方と日本に起こっていることを考えれば、私からの深い哀悼の意を表すのに言葉は十分ではありません。原子力の脅威が、最悪の事態にならないことをただ願うばかりです。

## 緊急救援募金へのご協力を

昨日、全国に呼びかけた緊急救援募金は、日本原水協事務局内で4万円の募金が集まりました。